会 告　2025. 8

本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日		行事	開催地	案内記事掲載巻号
2025年				
8月	26日（火）	第34回市民セミナー 「皆のチカラで推進する水環境プロジェクト」	オンライン	本号
	27日（水），28日（木）	第38回におい・かおり環境学会	福岡	48巻7号
9月	2日（火）～4日（木）	第20回人工湿地ワークショップ2025 in 富良野 ～人工湿地技術の最前線～	北海道	本号
	10日（水）～12日（金）	12th IWA Symposium on Waste Management Problems in Agro-Industries AGRO'2025	トルコ	本号
	13日（土）	第62回水環境フォーラム山口	山口， オンライン	本号
	17日（水）～19日（金）	第28回日本水環境学会シンポジウム	富山	本号
	29日（月）～ 10月3日（金）	10th IWA-ASPIRE Conference	ニュージーランド	本号
10月	31日（金）	有機フッ素化合物等の化学物質を巡る課題と技術革新の現在地	東京	本号
11月	4日（火）	グリーンサイエンス21 第15回「みんなの水道」（水の文化を語る）	東京	本号
	12日（水），13日（木）	第38回日本吸着学会研究発表会	大分	本号
	29日（土）	公開シンポジウム： 「水辺のすこやかさ指標」のグローバルな取り組みを目指して	東京	本号
12月	12日（金）	第63回高分子と水に関する討論会	東京	本号
2026年				
3月	9日（月）～11日（水）	第60回日本水環境学会年会	東京	
7月		WET2026 （Water and Environment Technology Conference 2026）	京都	

会員登録データ変更の届け出について（お願い）

住所，所属変更等，本会に登録されているデータに変更のあった場合には，ホームページの会員専用ページ（https://www.jswe.or.jp/member/）よりご登録の変更をお願い申し上げます。メールアドレスの登録がない方，登録アドレスを忘れた方は，メール（member＠jswe.or.jp（@は半角））またはFaxにてお問い合わせください。お電話での変更のご連絡は受け付けません。会員は年度毎（4月→3月）の扱いで，退会のお手続きがない場合には，自動的に会員登録が継続となります。なお，学生会員は年度ごとの資格ですので，2024年度の学生会員は2025年3月末日に失効になりました。

また2013年度より特別正会員制度も新設されています。この制度は，満65歳以上で，水環境関連分野に従事，または関心を有し，本会に対し功労のあった個人を対象とするもので，学会コミュニティにおいて，継続的に知識や経験を活かした活動に取り組んでいただくために設けられたものです。資格要件など詳細は本会WEBサイト（http://www.jswe.or.jp/joining/index.html）をご覧ください。

本会関連行事

第28回 日本水環境学会シンポジウム 参加申し込み案内

第28回日本水環境学会シンポジウムは，下記の要領により，富山県立大学射水キャンパスで開催いたします。

各研究委員会のセッションのほか，特別講演，メタウォーター賞受賞者講演，大学院博士後期課程の研究奨励を目的とした若手研究紹介（オルガノ）セッション，懇親会，テクニカルツアーなど，多彩な企画が用意されています。

多数の皆様のご参加をお願い申しあげます。

1．概要

期　日：2025年9月17日（水）～19日（金）
（19日（金）はテクニカルツアー 10:00～13:00頃

会　場：富山県立大学射水キャンパス（対面形式で開催）

内　容：各研究委員会の主催によるセッション，特別講演，メタウォーター賞受賞者講演，若手研究紹介（オルガノ）セッション，懇親会，テクニカルツアーほか。

後　援：富山県立大学

講演集形式：ダウンロード版および冊子版として提供します。冊子をご希望の場合は，冊子版有の参加費となります。

※Wi-Fiの提供はございません。ご自身でご用意をお願いします。

2．内容

若手研究紹介（オルガノ）セッション（発表審査）

17日（水）午前

年間優秀論文賞（メタウォーター賞）受賞者講演

17日（水）17:10～17:50

特別講演「富山県・富山湾の水環境」

18日（木）午前　（参加無料・申込不要）

表彰式・懇親会（会場：富山県立大学 射水キャンパス食堂）

17日（水）18:00～19:30予定

テクニカルツアー

富岩運河水上クルーズ，廻船問屋見学，日本酒セルフ唎酒等で港町の歴史と水を楽しむ半日ツアーを予定しております。詳細はWEBページをご覧ください。

日　　時　2025年9月19日（金）（雨天決行，荒天中止）

申込期日　8月28日（木）まで

※キャンセルは9月18日（木）午前まで，以降はキャンセル料が発生しますのでご注意ください。

研究委員会セッション

各研究委員会のセッションにつきましては，別表をご覧ください。セッションの詳細については，各研究委員会までお問い合わせください。

17日（水）午前（9:00～12:30）／午後（13:30～17:00）

18日（木）午前（9:00～12:30）／午後（13:30～17:00）

3．参加申し込み案内

混雑緩和のため事前の参加登録（申し込みと入金）にご協力ください。研究発表を申し込まれた方は，必ず参加登録が必要です。

（1）シンポジウム参加費および懇親会参加費

			予約	当日
参加費（冊子版なし）	正会員（不課税）		4,500円	7,000円
	学生会員（不課税）		2,000円	4,000円
	非会員（課税，税込み）	一般	17,500円	20,000円
		学生	7,000円	9,000円
参加費（冊子版有）	正会員（不課税）		7,500円	10,000円
	学生会員（不課税）		5,000円	7,000円
	非会員（課税，税込み）	一般	20,500円	23,000円
		学生	10,000円	12,000円
懇親会参加費（課税，税込み）			4,000円	5,000円
テクニカルツアー（課税，税込み）				3,000円

＊1 参加者に同伴して懇親会に参加する家族（小学生以下）は無料

＊2 冊子版有の参加費につきましては，制作費高騰のため，値上げしております。

＊3 テクニカルツアー参加希望の方は，事前の申込みが必要，支払は当日現金払いのみとなります。

キャンセルポリシーについてはhttps://www.jswe.or.jp/pdf/JSWE_cancellation_policy.pdfをご覧ください。

（2）予約申込方法と期限

下記のWEBページにある「シンポジウム 参加申込」からお申し込みください。申込期限は8月21日（木）23時59分です。また，参加費は8月29日（金）までに指定口座に振り込んでください。ご入金が確認できない場合は，予約申込みがキャンセルとなります。当日会場にて参加申込を行ってください。

お振込後，入金が確認できるまで銀行振込で1～3日，郵便振替（ゆうちょ銀行への振込を含む）で2～8日かかることがありますので，余裕をもってご送金ください。

https://www.jswe.or.jp/event/symposium/

WEBからの申し込みができない方は，下記の連絡・問い合わせ先にご連絡ください。

（3）振込先

振込人名義に申込番号も記載してください。名義が異なる場合や申込番号が記載できない場合は，必ず別途ご連絡をお願いします。

※参加申込を行ってから，支払いを完了してください。

振込先銀行：三菱UFJ銀行市ヶ谷支店
普通預金　口座番号：4948527
名義：シャ）ニホンミズカンキョウガッカイ

郵便振替※：00180-5-564127
加入者名：（公社）日本水環境学会
※通信欄に申込番号を記載してください。

第 28 回日本水環境学会シンポジウム　別表

研究委員会名	セッションタイトル	開催日	連　絡　先
嫌気性微生物処理	嫌気性微生物処理研究の軌跡と未来への挑戦	17日 AM	日高　平（京都大学）
			hidaka.taira.4e@kyoto-u.ac.jp
MS 技術	環境汚染物質の探索と実態把握	17日 AM	松村千里（兵庫県環境研究センター）
			matsumura-c@hies-hyogo.jp
生物膜法	環境再生保全のための生物生態工学システムの高度化・資源循環・温暖化対策等による流域管理	18日 PM	稲森悠平（NPO 法人バイオエコ技術研究所）
			inamori514@gmail.com
身近な生活環境	人口減少・災害時代における水インフラ－私たちの現在地と課題－	18日 AM	柿本貴志（埼玉県環境科学国際センター）
			kakimotonrk@gmail.com
微生物生態と水環境工学	Standing on the shoulders of giants：微生物生態と水環境工学研究の歩みと未来	18日 PM	押木　守（北海道大学）
			oshiki@eng.hokudai.ac.jp
バイオアッセイによる安全性評価	New Approach Methods（NAMs）の理解と適切な利用に向けて	17日 PM	新野竜大（三菱ケミカル(株)）
			tatsuhiro.niino.mp@mcgc.com
水中の健康関連微生物	災害・事故時における健康関連微生物への対応を考える	17日 PM	原本英司（山梨大学）
			eharamoto@yamanashi.ac.jp
湿地・沿岸域	湿地・沿岸域研究の最前線と北陸沿岸域のいま	18日 AM	藤林　恵（九州大学）
			m.fujibayashi@civil.kyushu-u.ac.jp
流域物質動態	流域物質動態モデリングの最新動向	17日 PM	櫻井伸治（大阪公立大学大学院）
			sakurai@omu.ac.jp
膜を利用した水処理技術	安全安心な水循環と膜～はたらく細孔～	18日 PM	大和信大（メタウォーター(株)）
			yamato-nobuhiro@metawatet.co.jp
紫外線を利用した水処理技術	促進酸化処理の鍵となる紫外線－その最適な活用法とは？	17日 PM	中村知克（(株)日本フォトサイエンス）
			t.nakamura@npsuv.co.jp
産業排水の処理・回収技術	産業排水の処理・回収分野における新たな課題と技術動向	17日 PM	小松和也（栗田工業(株)）
			k.komatsu51@kurita-water.com
電気化学的技術	環境エンジニアリングにおける電気化学的技術	17日 PM	小森正人（(株)ヤマト　大和環境技術研究所）
			Komori_Masahito@yamato-se.co.jp
熱帯・亜熱帯地域水環境	熱帯亜熱帯地域の水圏環境研究の役割と可能性	18日 PM	宮城俊彦（(元)沖縄県衛生環境研究所）
			miyagto571123@yahoo.co.jp
農産業に関わる水・バイオマス循環技術	水・バイオマス分野と農業等の関わり	18日 PM	森田真由美（月島 JFE アクアソリューション(株)）
			mayumi_morita@tjas.co.jp
汽水域	集水域の変化と汽水域	17日 AM	山室真澄（東京大学）
			yamamuro@edu.k.u-tokyo.ac.jp
地域水環境行政	地域からの発信～多様な視点で読み解く水環境～	17日 PM	石井裕一（東京都環境科学研究所）
			ishii-y@tokyokankyo.jp，sympo@jswe-local.org
マイクロプラスチック	産官学によるプラスチック問題対策と取り組み現況	18日 PM	鈴木裕識（岐阜大学）
			suzuki.yuji.p3@f.gifu-u.ac.jp

(4) 参加証／講演集引換券の送付
ご入金を確認後メールにてお知らせします。領収書は振替・振込の受領証等をもって代えさせていただきます。別途，事前に学会名での領収書をご希望の場合は，下記の連絡・問い合わせ先まで必要事項を記入の上，ご連絡ください。
(5) 現地受付用の QR コード
期限内に参加登録・入金がお済みの参加者には，現地受付用の QR コードを事前にお送りする予定です。

4．託児施設

託児施設を開設する予定です。ご利用を検討される方は，8 月 28 日（木）までに takuji @ jswe.or.jp（@を半角）までご連絡ください。

5．ホテルと交通手段について

宿泊施設の案内・斡旋等は行いませんので，各自で手配してください。

6．連絡・問い合わせ先

公益社団法人 日本水環境学会　シンポジウム係
東京都江東区常盤 2-9-7
グリーンプラザ深川常盤 201 号
Tel：03-3632-5351　Fax：03-3632-5352
E-mail：nenkai @ jswe.or.jp（@を半角）

第 34 回 日本水環境学会市民セミナー「皆のチカラで推進する水環境プロジェクト」

本会では，年に 1 回，市民セミナーを開催しており，水環境に関する身近な話題を取り上げ，その分野の専門家を招いてわかりやすく説明していただいております。今年は，水環境分野の協働プロジェクトに焦点を当て，産学官連携や市民科学の可能性についてご紹介いたします。皆様，お誘い合わせの上，ご参加いただければ幸いです。

主　　催　日本水環境学会
後　　援　全国環境研協議会
日　　時　2025 年 8 月 26 日（火）13:00～17:00
（ZOOM オンライン）
参 加 費　会員（個人・団体），非会員 1,000 円（税込），大学生以下無料
動画配信　参加申込者を対象に期間限定でオンデマンド配信予定

プログラム

13:00～13:10　開会挨拶
13:10～14:00
第 1 席「水田農業と水環境」
京都大学大学院農学研究科　准教授　濱　武英
14:00～14:50
第 2 席「ビストロ下水道で目指す地域の循環共生圏」
山形大学農学部食料生命環境学科　教授　渡部　徹
14:50～15:10　休憩
15:10～16:00
第 3 席「下水処理水を活用した酒米栽培～酔思源（すいしげん）プロジェクトの歩み～」
秋田工業高等専門学校創造システム工学科　教授
増田周平
16:00～16:50
第 4 席「シチズンサイエンス－市民との協働による科学の勧め－」
福井県立大学生物資源学部創造農学科　助教
牧野奏佳香
16:50～17:00　閉会挨拶

事前参加申込のみ（当日参加はできません）
申し込み・入金締め切り　2025 年 8 月 19 日（火）厳守
参加申込方法

下記の登録方法にて 8 月 19 日（火）までにお申し込みください。右 QR コードまたは下記 URL の登録フォームからお申し込みください。
登録フォーム URL
https://forms.gle/zFMdLxhPh2yEzzu57

参加費振込先

三菱 UFJ 銀行　市ヶ谷支店（普通）0754950
（公社）日本水環境学会セミナー口
シャ）ニホンミズカンキョウガッカイセミナーグチ

セミナー参加証明書の発行について

継続技術者教育（CPD）の観点から，要望に基づきセミナー参加証明書を発行します。参加証明書の発行（PDF・後日メール送信）を希望される方は参加申込みの際にその旨を申し出てください。

申し込み・問い合わせ先

（公社）日本水環境学会　事務局セミナー係
Tel：03-3632-5351　E-mail：seminar_info@jswe.or.jp

第 20 回 人工湿地ワークショップ 2025 in 富良野 ～人工湿地技術の最前線～

主　催　日本水環境学会東北支部人工湿地研究会
期　日　2025 年 9 月 2 日（火）～4 日（木）
場　所　発表会：富良野市布礼別小学校
見学会：富良野市内
オプショナルツアー：ニセコ町内

スケジュール（予定）

- 9 月 2 日　現地見学会（3 ヵ所の人工湿地を見学）
  12 時　新千歳空港集合・レンタカー（相乗）で現地へ
  14 時 30 分～16 時 30 分　見学会
  17 時 30 分　宿泊地（森のゆホテル花神楽）へ移動
  18 時 30 分　交流会 BBQ（森のゆホテル花神楽）
- 9 月 3 日　事例研究発表会（富良野市布礼別小学校）
  9 時 レンタカー（相乗）で現地へ
  10 時　受付開始
  10 時 30 分～12 時　事例研究発表会（前半）

13時30分～16時　事例研究発表会（後半）
16時30分　レンタカー（相乗）で札幌へ

- 9月4日　オプショナルツアー（ニセコ別荘地の人工湿地を見学）

10時 札幌駅集合・レンタカー（相乗）で現地へ
13時～14時30分　見学会
15時　現地出発　レンタカー（相乗）で札幌へ
17時　札幌駅解散

申込方法

事例研究発表会での発表をご希望の方は8月18日（月）までに，参加をご希望の方は8月22日（金）までにE-mailにて下記項目を記載の上，お申し込みください。

①参加者名　②参加者の所属　③連絡先（E-mail，携帯電話番号）　④研究発表会，現地見学会（9月2日），9月2日の宿泊（先着29名，交流会費・宿泊費込み15,000円），オプショナルツアー（9月4日）それぞれの申し込みの有無　⑤事例研究発表の有無，発表題目，発表者名　⑥その他要望，連絡事項など

参加費　会員 10,000円，学生 5,000円，非会員 15,000円（当日に徴収いたします）

詳細 URL　https://jswetohoku.jp/

申込・問い合わせ先

日本大学工学部　中野和典
E-mail：nakano.kazunori@nihon-uac.jp
Tel：024-956-8719

第62回 水環境フォーラム山口

主　　催　日本水環境学会中国・四国支部
共　　催　山口県環境保健センター
期　　日　2025年9月13日（土）
開催形態　ハイブリッド開催（オンライン＋対面方式）
【対面会場】山口大学工学部　D11講義室
（所在地：山口県宇部市常盤台2丁目16-1）

プログラム（予定）

【講演】10:00～16:00

○特別講演

相生湾の自然共生サイト
（相生市市民生活部環境課　主幹　大角 潤矢）
瀬戸内海における水質・底質環境の長期変化と広湾における季節別運転評価
（広島大学環境安全センター　助教　梅原 亮）

○一般講演

地域生物多様性増進法の施行と自然共生サイト
（環境省中国四国地方環境事務所　生物多様性保全企画官　秀田 智彦）
ASVを用いた有害赤潮の早期発見手法に関する実証実験
（株式会社宇部セントラルコンサルタント　代表取締役社長　植田 敏史）
水の泡を利用した高速曝気装置の開発
（山口大学大学院創成科学研究科　博士前期課程　坂本 壮）
地球温暖化に伴う気候変動
（下関地方気象台　防災気象官　小山 芳太）
海草アマモの多様性（仮）
（水産大学校生物生産学科　准教授　阿部 真比古）
海洋における環境問題の解決に向けた取組み（仮）
（ニチモウ株式会社研究開発室　貝田 昂大）

最新情報は下記の詳細URLからご確認ください。

参加申し込み方法　詳細URLよりお申し込みください。

参加申込締切　2025年9月10日（水）正午

参加費　無料

詳細 URL

https://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~kanno/mkfymgc/62/

問い合わせ先

第62回水環境フォーラム山口事務局
（代表：山口大学　神野有生）
〒755-8611　山口県宇部市常盤台2丁目16-1
E-mail：kanno@yamaguchi-u.ac.jp

公開シンポジウム：「水辺のすこやかさ指標」のグローバルな取り組みを目指して

主　　催　日本水環境学会東北支部水辺のすこやかさ指標研究会・関東支部
期　　日　2025年11月29日（土）13:00～17:00
場　　所　TKP東京駅カンファレンスセンター・カンファレンスルーム10B
開催形式　対面とオンラインのハイブリッド形式

プログラム

【開会挨拶】

日本水環境学会東北支部水辺のすこやかさ指標研究会
代表　東北工業大学　矢野 篤男

【基調講演】13:05～13:55

- 『英語版“Water Environment Soundness Index（MIZU-SHIRUBE）”の活用に向けて』

中央大学　古米 弘明

『みずしるべの普及に向けた環境省における検討状況』
環境省　鍛冶 尚寛

【話題提供】13:55～15:50

『ボリビアにおける水辺のすこやかさ指標の適用の可能性』
東北大学・JICA　根立 隆志
『インドにおける水辺のすこやかさ指標の活用事例』
（株）日水コン　前田 千夏
水・地域イノベーション財団　清水 康生
『ベトナムにおける水辺のすこやかさ指標の適用の可能性』
北九州市水道局　原口 公子

～ 休憩（15分）～

『横浜市における取組について』
横浜市　田中 康平

『水辺のすこやかさ指標の課題と展望について』
山梨県立大学　風間 ふたば
【総合討論】15:50〜16:50
司会　中央大学　古米 弘明
【閉会挨拶】
日本水環境学会関東支部長　中央大学　西川 可穂子
参　加　どなたでも参加は自由です
参加費　無料
交流会　シンポジウム終了後に開催を予定しています
詳細 URL　http://jswetohoku.web.fc2.com/
参加申し込み・問い合わせ先
東北工業大学都市マネジメント学科　矢野篤男
Tel：022-305-3961　E-mail：yano-t@tohtech.ac.jp

IWA 関連行事

12th IWA Symposium on Waste Management Problems in Agro-Industries AGRO'2025（第12回 IWA国際シンポジウム：農産業における廃棄物管理問題－ AGRO'2025）

主　催　IWA
期　日　2025 年 9 月 10 日（水）〜12 日（金）
場　所　トルコ・イスタンブール
詳しくは下記 URL をご参照ください。
詳細 URL　https://agro2025.itu.edu.tr/
問い合わせ先
岡山大学・永禮英明
E-mail：nagare-h@okayama-u.ac.jp

10th IWA-ASPIRE Conference

期日：2025 年 9 月 29 日（月）〜10 月 3 日（金）
場所：クライストチャーチ，ニュージーランド
詳細 URL：https://www.iwaaspire2025.org/

他学会関連行事

有機フッ素化合物等の化学物質を巡る課題と技術革新の現在地

主　催　国立研究開発法人　産業技術総合研究所
共　催　産業技術連携推進会議 環境・エネルギー部会，環境・エネルギー分科会，PFAS 対策技術コンソーシアム
期　日　2025 年 10 月 31 日（金）13:00〜17:15
場　所　産総研臨海副都心センター別館 11 階会議室（東京都江東区青海 2-4-7）
プログラム　近年，残留性や難分解性を有する化学物質による環境および健康へのリスクに対する関心が高まる中，とりわけ一部の有機フッ素化合物は，国際的にも優先的な対応が求められる化学物質群として注目されています。本講演会では，有機フッ素化合物等の化学物質を取り巻く現状に対し，計測技術，分解・処理技術，化学物質管理に関する視点から，環境と産業の共生に向けて求められる最新の研究成果や技術・政策動向を紹介します。
参加申し込み方法　以下 URL をご参照ください
参加申込締切　2025 年 10 月 22 日（水）17:00
参加費　無料
詳細 URL　https://unit.aist.go.jp/env-mri/kouenkai/2025/index.html
問い合わせ先　産業技術総合研究所　環境創生研究部門 研究発表会事務局
〒305-8569　茨城県つくば市小野川 16-1
E-mail：M-EMRIsympo-ml@aist.go.jp

グリーンサイエンス 21 第 15 回「みんなの水道」（水の文化を語る）

主　催　グリーンサイエンス 21
協　賛　日本水道協会ほか
期　日　2025 年 11 月 4 日（火）13:00〜17:00
場　所　全水道会館（JR 水道橋駅徒歩 5 分）
プログラム
講演 1 「ハーバード大学学位修得後，イタリア各地区の調査」
音楽学者　国際基督教大学名誉教授　金澤 正剛 氏
講演 2 「現代日本の上下水道とローマ帝国の上下水道の比較」
京都大学名誉教授　松井 三郎 氏
申し込み方法　連絡先を明記の上，入金方法は下記事務局へ問い合わせください。
締め切り　定員 150 名になり次第（要事前登録）
参 加 費　3,000 円
問い合わせ先　NPO 法人グリーンサイエンス 21 事務局
留守電＆ FAX：03-3952-1121
詳細 URL：http://www.npo-gs21.org

第 38 回 日本吸着学会研究発表会

主　催　日本吸着学会
協　賛　化学工学会
期　日　2025 年 11 月 12 日（水），13 日（木）
場　所　J:COM　ホルトホール大分（大分県大分市金池南 1 丁目 5-1）大分駅前
詳細 URL　https://www.j-ad.org/annual-meeting38/
参加申込締切＆参加費
事前登録（一次）：（9 月 26 日（金）まで）
日本吸着学会・協賛学会会員（官・学・産）：7,000 円，学生：3,000 円
非会員（官・学・産）：10,000 円，学生：4,000 円
事前登録（二次）：（10 月 31 日（金）まで）
日本吸着学会・協賛学会会員（官・学・産）：8,000 円，学生：4,000 円
非会員（官・学・産）：12,000 円，学生：5,000 円

問い合わせ先

第 38 回日本吸着学会研究発表会 実行委員会
〒870-1192　大分県大分市大字旦野原 700 番地
大分大学　理工学部理工学科　生命・物質化学プログラム　近藤　篤
Tel：097-554-7896
E-mail：adsorption2025@oita-u.ac.jp

第63回 高分子と水に関する討論会

主　催　高分子学会 高分子と水・分離に関する研究会
協　賛　日本水環境学会
期　日　2025 年 12 月 12 日（金）
場　所　東京都市大学世田谷キャンパス
（世田谷区玉堤 1-28-1）

プログラム

それ以外は以下詳細 URL をご参照ください
https://member.spsj.or.jp/event/

申し込み方法

https://member.spsj.or.jp/event/ の「第63回高分子と水に関する討論会（発表募集）」よりお申し込みください。
①希望発表形式　②研究発表題目　③発表者・共同研究者の情報（氏名・所属）　④連絡者情報（氏名・所属・住所・電話・E-mail）を入力していただきます。採否およびプログラム編成は運営委員会にご一任ください。

参加申込締切　発表申込締切　9 月 30 日（火）
参 加 費　企業・大学・官公庁　4,400 円，学生 2,200 円
詳細 URL　https://member.spsj.or.jp/event/

問い合わせ先

公益社団法人高分子学会
〒104-0042　東京都中央区入船 3-10-9 新富町ビル 6F
Tel：03-5540-3770　Fax：03-55403 ⑦ 37
E-mail：sugimoto@spsj.or.jp

おしらせ

公益社団法人 日本水環境学会 役員等について

第 45 回通常総会（2025 年 6 月 24 日）および第 143 回理事会（同日）において，本会の 2025 年度からの役員等が下記のとおり選任されました（敬称略）。

なお任期は 2025 年 6 月 24 日から 2027 年通常総会終了までです。

（敬称略）

理事（26 人）＊会員外
（会　　長）
亀屋　隆志　横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授
（副 会 長）
中島　典之　東京大学環境安全研究センター 教授
藤原　　拓　京都大学大学院地球環境学堂 教授
江口　正浩　オルガノ株式会社 執行役員 開発センター長
（常務理事）
栗栖　　太　東京大学大学院工学系研究科 教授
（理　　事）
井坂　和一　東洋大学理工学部 教授
井上　大介　大阪大学大学院工学研究科 准教授
今井　　剛　山口大学大学院創成科学研究科 教授
越後　信哉　京都大学大学院地球環境学堂 教授
大河内由美子　麻布大学生命・環境科学部環境科学科 教授
岡部　　聡　北海道大学大学院工学研究院 教授
佐藤　　久　北海道大学大学院工学研究院 教授
佐野　大輔　東北大学大学院工学研究科 教授
島村　和彰　水 ing 株式会社 基盤技術研究センター センター長
新矢　将尚　大阪健康安全基盤研究所衛生化学部衛生化学部食品安全課 課長
清　　和成　北里大学医療衛生学部／大学院医療系研究科 教授
高岡　昌輝＊　京都大学大学院工学研究科 教授
髙島　正信　福井工業大学工学部建築土木工学科 教授
高見　　徹　西日本工業大学工学部総合システム工学科 教授
田畑　彰久　いであ株式会社 代表取締役社長
中井　智司　広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授
中野　和典　日本大学工学部土木工学科 教授
見島　伊織　埼玉県環境科学国際センター水環境担当主任研究員
山口　太秀　メタウォーター株式会社 R&D センター 水道技術開発部 部長
山村　　寛　中央大学理工学部 教授
吉田　浩介　ライオン株式会社サステナビリティ推進部

監事（3 人）＊会員外
久場　隆広　九州大学大学院工学研究院 教授
中井　里史＊　横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授
渡邉　智秀　群馬大学大学院理工学府物質・環境部門 教授

顧問（6 人）
迫田　章義　東京大学名誉教授
古米　弘明　中央大学 機構教授／東京大学 名誉教授
小野　芳朗　京都工芸繊維大学 名誉教授
松井　佳彦　北海道大学 名誉教授
西嶋　　渉　広島大学環境安全センター 教授・センター長
池　　道彦　大阪大学大学院工学研究科 教授

参与（5 人）
公益社団法人 日本水道協会　（理事長　青木　秀幸）

公益財団法人 日本環境整備教育センター
（理事長　由田　秀人）
公益社団法人 日本下水道協会（理事長　岡久　宏史）
東京都健康安全研究センター
（地方衛生研究所全国協議会 会長）
（所長　吉村　和久）
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
（全国環境研協議会　副会長）
（所長　川崎　竹志）

2025年度「水環境文化賞」の推薦募集について

水環境文化賞は水環境の保全・創造に関する社会文化活動が顕著である団体あるいは個人に贈られます。自薦，他薦は問いません。詳細は以下，学会事務局にお問い合せください。受賞者は2026年3月の日本水環境学会第60回年会にて表彰予定です。たくさんのご応募をお待ちしています。

被推薦資格　水環境の保全・創造に関する社会文化活動に積極的に取り組んでいる団体あるいは個人。本会の会員／非会員は問いません。

応募方法　学会ホームページより応募用紙をダウンロードし，以下1）～6）の必要事項を記入の上，7）活動を示す資料とあわせて以下の提出先に送付ください。以下のE-mailへの電子ファイルでの提出をお願いします。電子ファイルとすることが困難な場合はご相談ください。なお，評価ポイントは学会ホームページでご覧になれます。

1）被推薦団体名或いは被推薦者氏名，連絡先住所，電話番号，E-mailアドレス
2）活動概要（300字以内）
3）対象とする社会文化活動
4）広報活動など（200字以内）
5）推薦者の推薦理由（500字程度）
6）推薦者の氏名，所属，住所，電話番号，E-mailアドレス（自薦も可）
7）活動を示す資料（複数でも可。ただし，電子ファイル合計40ページ以内）

提出期限　2025年9月18日（木）（必着）昨年度から，締め切りを2週間ほど早くしているのでご注意ください。

提出・問い合わせ先（学会事務局）
（公社）日本水環境学会「水環境文化賞」係
〒135-0006　東京都江東区常盤2-9-7
グリーンプラザ深川常盤201号
Tel：03-3632-5351　Fax：03-3632-5352
E-mail：award@jswe.or.jp

2025年度「水環境文化賞児童・生徒の部（みじん子賞）」の推薦募集について

水環境文化賞児童・生徒の部（みじん子賞）は地域の水環境保全・創出に貢献した小・中・高校生のグループに贈られます。例年，年会開催予定地の地区から選出され，本年度は関東支部エリア（茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・新潟県・山梨県・長野県）が対象となります。自薦，他薦は問いません。詳細は以下，学会事務局にお問い合せください。受賞者は2026年3月の日本水環境学会第60回年会にて表彰予定です。たくさんのご応募をお待ちしています。

被推薦資格　地域の水環境保全・創出に努力している小学生，中学生もしくは高校生のグループ等。本会の会員／非会員は問いません。

応募方法　学会ホームページより応募用紙をダウンロードし，以下1）～6）の必要事項を記入の上，7）活動を示す資料とあわせて以下の提出先に送付ください。以下のE-mailへの電子ファイルでの提出をお願いします。電子ファイルとすることが困難な場合はご相談ください。なお，評価ポイントは学会ホームページでご覧になれます。

1）被推薦団体名或いは被推薦者氏名，連絡先住所，電話番号，E-mailアドレス
2）活動概要（300字以内）
3）対象とする社会文化活動
4）広報活動など（200字以内）
5）推薦者の推薦理由（500字程度）
6）推薦者の氏名，所属，住所，電話番号，E-mailアドレス（自薦も可）
7）活動を示す資料（複数でも可。ただし，電子ファイル合計40ページ以内）

提出期限　2025年9月18日（木）（必着）昨年度から，締め切りを2週間ほど早くしているのでご注意ください。

提出・問い合わせ先（学会事務局）
（公社）日本水環境学会「水環境文化賞」係
〒135-0006　東京都江東区常盤2-9-7
グリーンプラザ深川常盤201号
Tel：03-3632-5351　Fax：03-3632-5352
E-mail：arawd@jswe.or.jp

第20回 日本水環境学会関西支部 関西水環境賞，奨励賞，社会・文化賞 推薦のお願い

日本水環境学会関西支部では，下記の賞を設け，水環境に関する優れた成果や貢献，活動等を表彰します。適切な候補者・団体等をご推薦ください。

関西水環境賞

水環境研究，水環境技術の開発，あるいは水環境の保全・創造に係る実務に関して，優れた成果や顕著な貢献をなしたと認められる支部個人正会員，または団体正会員およびこれに所属する個人に授与。

1．応募方法・資格：自薦または他薦，年齢等制限なし。
2．応募書類：以下の書類を提出ください。
a．推薦書：関西支部ホームページ

（http://www.jswe-kansai.com/）より所定の推薦書様式をダウンロードし，水環境に関する研究（様式A），水環境技術の開発（様式B），水環境の創造保全に関する実務（様式C）の中から該当する業績を1つ選択し，必要事項を記入。

b. 関連資料：論文，総説，ノート，報告，発表要旨，雑誌，書籍，特許，カタログ等

3．提出方法：推薦書と関連資料は原則PDF化し，元のデータと共に関西支部ホームページ内の応募フォームにて提出。

4．締め切り：2025年8月29日（金）＜必着＞

奨励賞

水環境研究，水環境技術の開発，あるいは水環境の保全・創造に係る実務に関して，独創的・特徴的な成果や貢献を有し，将来を期待される当該年度4月1日の時点で45歳以下の支部個人正会員，または団体正会員に所属する個人に授与。

1．応募方法・資格：原則他薦，2025年4月1日時点で45歳以下。

2．応募書類・提出方法・締め切り・提出先：関西水環境賞と同じ。

3．受付後，被推薦者には別途調書を提出していただきます。

社会・文化賞

関西地域で水環境の保全・創造に関する社会・文化活動が顕著な団体または個人に授与。

1．応募方法・資格：自薦または他薦，年齢等制限なし。当学会の会員・非会員を問わない。

2．応募書類：以下の書類を提出ください。

a. 推薦書：関西水環境賞と同じ。

b. 関連資料：対象の社会・文化活動がわかる資料等

3．提出方法：関西水環境賞と同じ。

4．締め切り：2025年8月29日（金）〈必着〉

受賞講演と水環境文化賞への推薦について

各受賞者には関西支部総会（本年12月上旬～中旬を予定）において受賞講演をお願いいたします。また，社会・文化賞に推薦された団体は，当学会の水環境文化賞に支部から推薦させていただく場合があります。

詳細URL・問い合わせ先

http://www.jswe-kansai.com

東京都立大学，「教授または准教授の公募」

募集人員　教授または准教授，1名
所　　属　東京都立大学都市環境学部都市基盤環境学科
専門分野　水工学および関連分野
応募資格　以下詳細URLをご参照ください
採用予定日　2026年4月1日
応募方法　kyoinkobo-toshikankyo@jmj.tmu.ac.jp
応募期限　2025年10月3日（金）必着
詳細URL　https://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher_page/tmu/
問い合わせ先
◎公募全般に関すること
東京都公立大学法人　総務部人事課人事制度係
Tel：042-677-1111（内）1027
E-mail　kyoinsaiyo@jmj.tmu.ac.jp
◎専門分野に関すること
都市環境科学研究科都市基盤環境学域　学域長　今村
Tel：042-677-2787　E-mail：imamura@tmu.ac.jp

信州大学学術研究院工学系 助教の公募（主担当：工学部部水環境・土木工学科）

募集人員　助教，1名
所　　属　信州大学工学部水環境・土木工学科
専門分野　水理学，衛生工学，水文・水資源工学，水環境工学，防災システムなどの土木分野
応募資格　博士の学位を有するか，着任時までに取得見込みの方。さらに水理学，衛生工学，水文・水資源工学，水環境工学，防災システムなどの土木分野に関する研究業績を持つ方
採用予定日　2026年4月1日
応募方法　詳細URLをご参照ください
応募期限　2025年10月6日（月）
詳細URL　https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/office-worker/2025/07/post-85.html
公募情報はJREC-IN Portal（研究分野：社会基盤）にも掲載。
問い合わせ先
信州大学工学部水環境・土木工学科
学科長　河村　隆
〒380-8553　長野県長野市若里4-17-1
Tel：026-269-5289　E-mail：t_kawa@shinshu-u.ac.jp

茨城大学助教の公募

募集人員　助教（テニュアトラック），1名
所　　属　学術研究院応用理工学野都市システム工学領域
専門分野　水環境学，上下水道工学
応募資格　博士の学位，または外国のPh.Dを有する方（取得見込みも可）。大学院および学部学生の指導に熱意を持って取り組める方。その他の資格については，以下の詳細URLをご参照ください。
採用予定日　2026年4月1日
応募方法　電子メールまたは郵送
応募期限　2025年10月6日（月）（必着）
詳細URL　https://www.ibaraki.ac.jp/m/recruit/
問い合わせ先
茨城大学学術研究院応用理工学野都市システム工学

領域長　平田　輝満
〒316-8511　茨城県日立市中成沢町 4-12-1
Tel：0294-38-5326
E-mail：terumitsu.hirata.a@vc.ibaraki.ac.jp

公益信託下水道振興基金
2025年度下水道の防災・減災，強靭化と活用に関する研究等助成の募集

募集期間　2025 年 8 月 29 日（金）必着
応募資格　下記 HP 募集要項をご参照ください。
助成件数　応募状況を勘案して決定します。
助成金額　総額 1,000 万円程度
応募方法　所定の申請書を日本下水道協会 HP より取得し，記入捺印のうえ募集要項記載の申請書送付先へご郵送ください。
決定期間　2025 年 9 月～10 月を目安
詳細 URL　https://www.jswa.jp/fund/
問い合わせ先
〈調査研究や課題，研修視察調査等の内容について〉
〒101-0047　東京都千代田区内神田 2-10-12
内神田すいすいビル
公益社団法人日本下水道協会　総務課
Tel：03-6206-0260　E-mail：soumu@ngsk.or.jp
〈申請一般および助成金の使途について／申請書の送付〉
〒100-8241　東京都千代田区丸の内 1-3-3
みずほ信託銀行　信託ソリューション第一部
Tel：03-6631-7773

第66回（令和7年度）東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成候補者推薦について

1．東レ科学技術賞
対象　本会に関する分野で，学術上の業績が顕著な方，学術上重要な発見をした方，効果が大きい重要な発明をした方，技術上重要な問題を解決して，技術の進歩に大きく貢献した方。2 件。
賞　1 件につき金メダルおよび副賞賞金 500 万円。
2．東レ科学技術研究助成
対象　本会に関する分野で，自らのアイディアで萌芽的研究に従事しており，かつ今後の研究成果が科学技術の進歩，発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者（原則として推薦時 45 歳以下もしくは博士学位取得後 10 年以内）。
助成金額　総額 1 億 3 千万円。
1 件 3 千万円程度まで，計 10 件程度。
＊詳細は HP（http://www.toray-sf.or.jp/）をご覧ください。
推薦方法　学会推薦を要します。応募を希望される方は本会事務局にお問い合わせください。本会への申請書類の提出期限は 9 月 8 日（月）といたします。

JST　地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）令和8年度 研究提案募集について

国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）は，地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）において，令和 8 年度の研究提案を令和 7 年 8 月より募集する予定です。
詳細情報　https://www.jst.go.jp/global/koubo/index.html
問い合わせ先
国立研究開発法人科学技術振興機構
国際部 SATREPS グループ
Tel：03-5214-8085　E-mail：global @ jst.go.jp
担当：土屋，森本

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は，国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム（J-STAGE）」に掲載しています。**https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/**